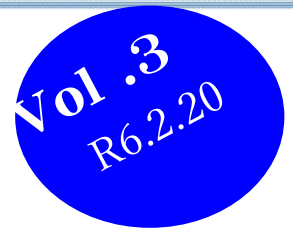




笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより



こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

令和5年度のケア会議は、順調に開催を重ね、さまざまな専門職の方と一緒に困難ケースに取り組んでいます。

1月の個別検討会議では、「視力障害がある独居者の生活支援」について話し合いました。本人に関わる生活保護のワーカー、介護支援専門員、訪問看護事業所などのほか、消防署からも参加をいただき、事例を検討しました。

★視力が悪化しているが、喫煙をやめずに、火災のリスクを抱えている

古い集合住宅の2階に長年、住んでいて、このところ糖尿病の網膜症が悪化し、視力がほとんどなくなっている方。

自由気ままな性格で、飲酒や喫煙を続け、生活支援や施設入所を拒否してきましたが、視力が悪化した影響で、たばこの不始末が多く、部屋中に焼け焦がしのあとが、数多く見られます。

防火設備が十分でないため、いつ住宅

全体を巻き込むような火災が起きてもおかしくない状態です。

最近では本人の口から、健康面での不安が聞かれるようになったため、引き続き、ケアマネや生活保護のワーカーが、健康面での指導を続けると同時に、消防署にも介入してもらい、本人や管理会社に対して防火診断を実施してもらえないか、検討することになりました。

11月の検討事例の経過報告

★「詐欺被害を否定し介入困難なスマホ依存症のケース」

いまだに決定的な解決策に結び付いていませんが、疎遠であったご家族の協力が得られるようになり、関係者間の話し合いに参加していただき、金銭管理の協力をしてもらえることになりました。高齢者の間でスマホトラブル、特に契約時にトラブルにつながる内容が多いことから、スマホのショップとの提携が必要で、今後は、ショップに働きかけていくということも考えています。



検討事例募集中

困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？
下記までご連絡よろしくお願ひいたします。



連絡先 笠間市地域包括支援センター Tel 0296-78-5871